



# ロジックツリー(Why ツリー)の作成方法

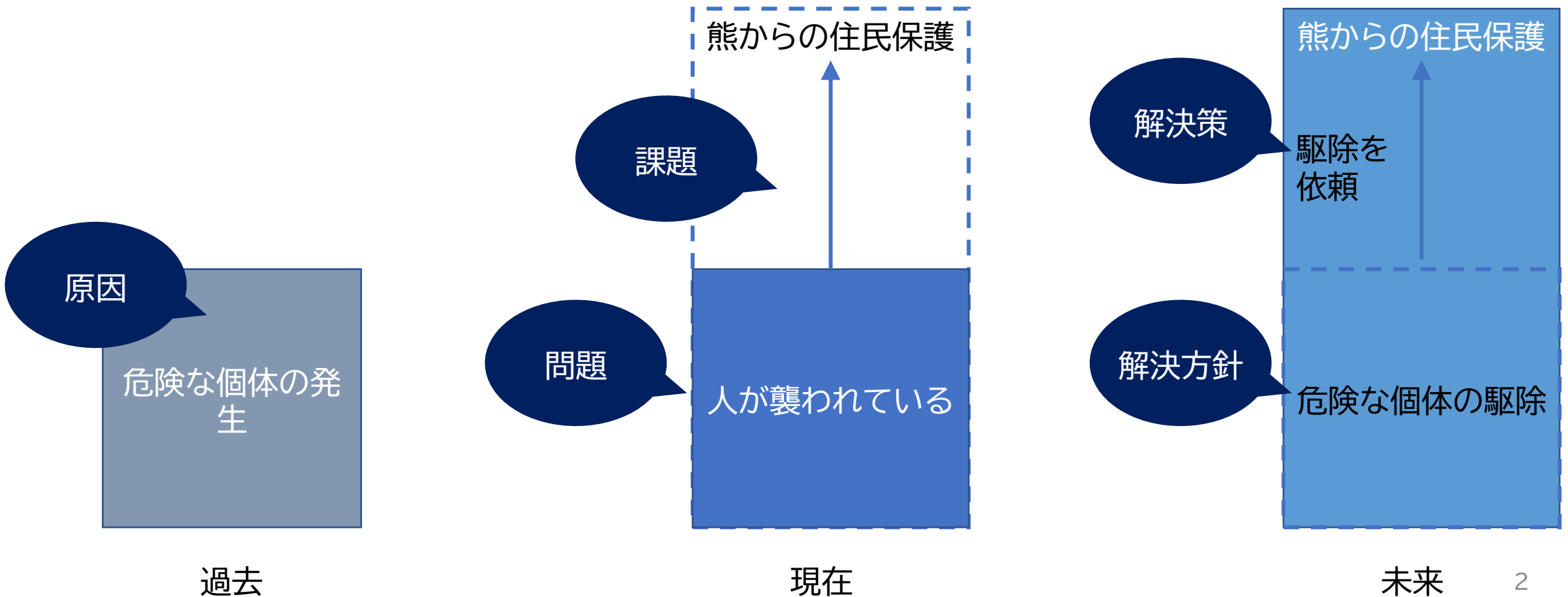
# 問題／課題の違い

---

- **問題**: 現に起きているまずい状態  
(例) 人が熊に襲われている
- **課題**: 問題を解決するために取り組まなければならないこと  
(例) 熊からの住民保護
- **解決方針**: どのような方向で解決をめざすか  
(例) 危険な熊の駆除
- **解決策**: 何に取り組むか  
(例) 猟友会への駆除の依頼

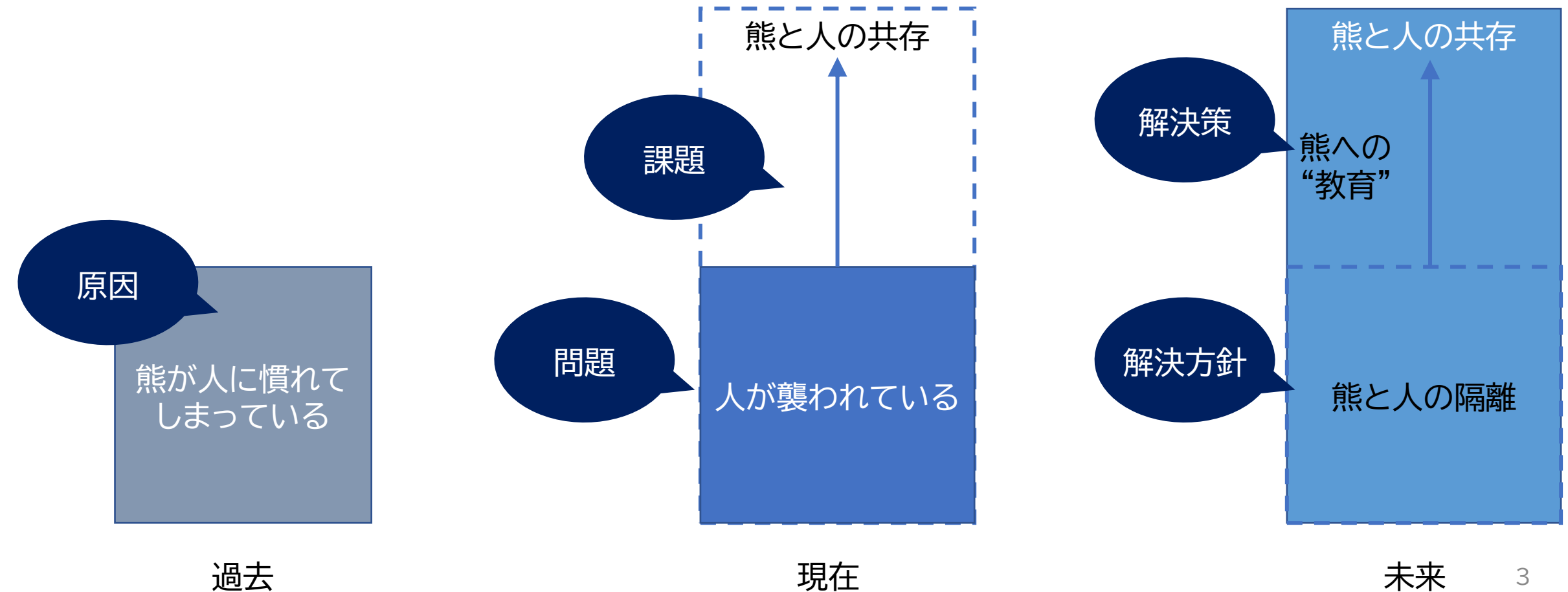
# 問題／課題の違い：熊出没問題

- 同じ問題でも、原因によって取り組むべき課題は異なってくる



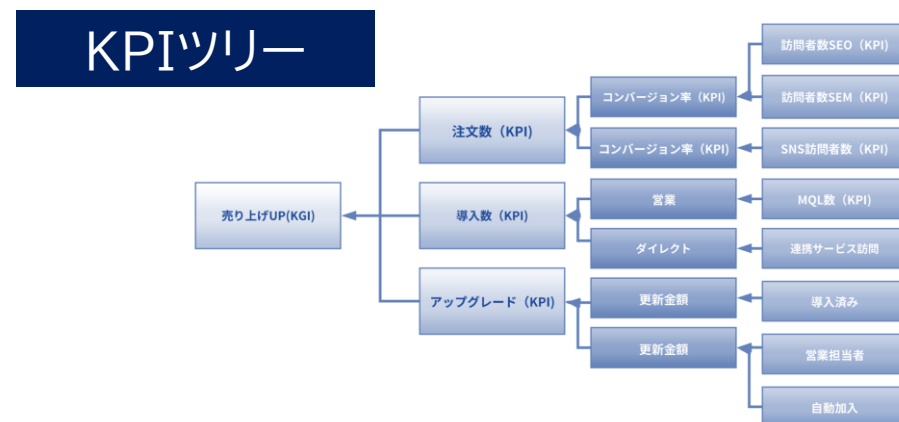
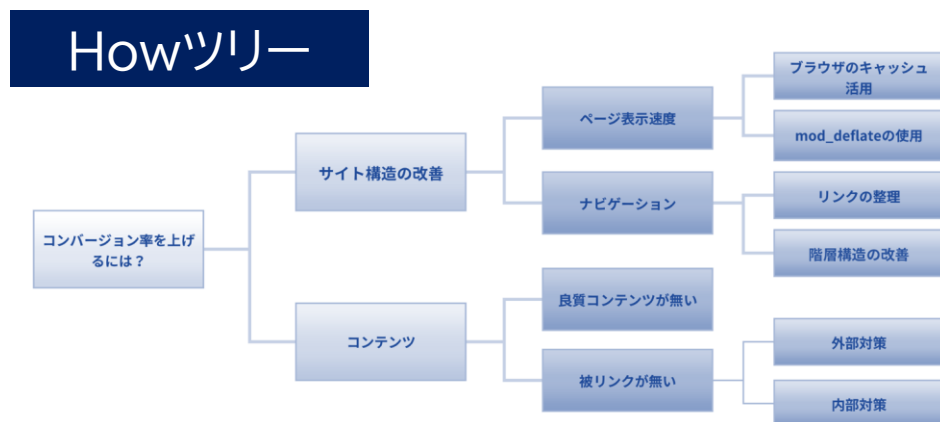
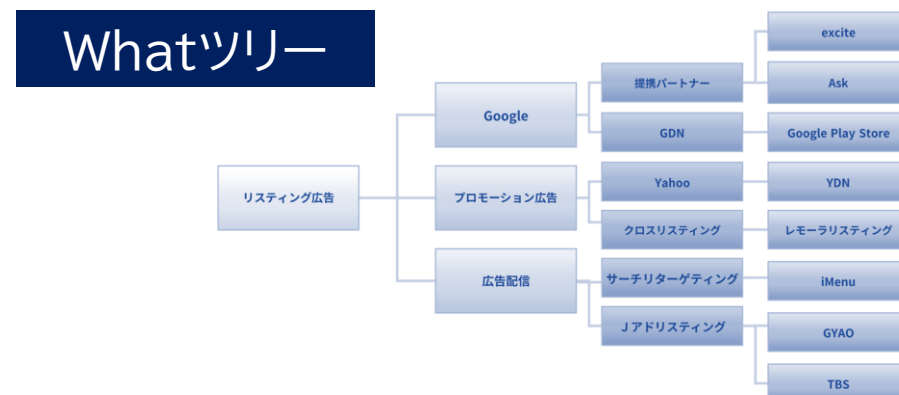
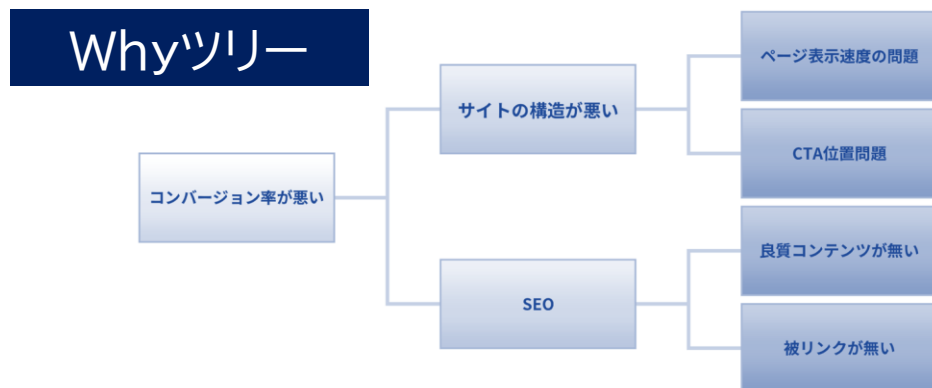
# 問題／課題の違い：熊出没問題

- 同じ問題でも、原因によって取り組むべき課題は異なってくる

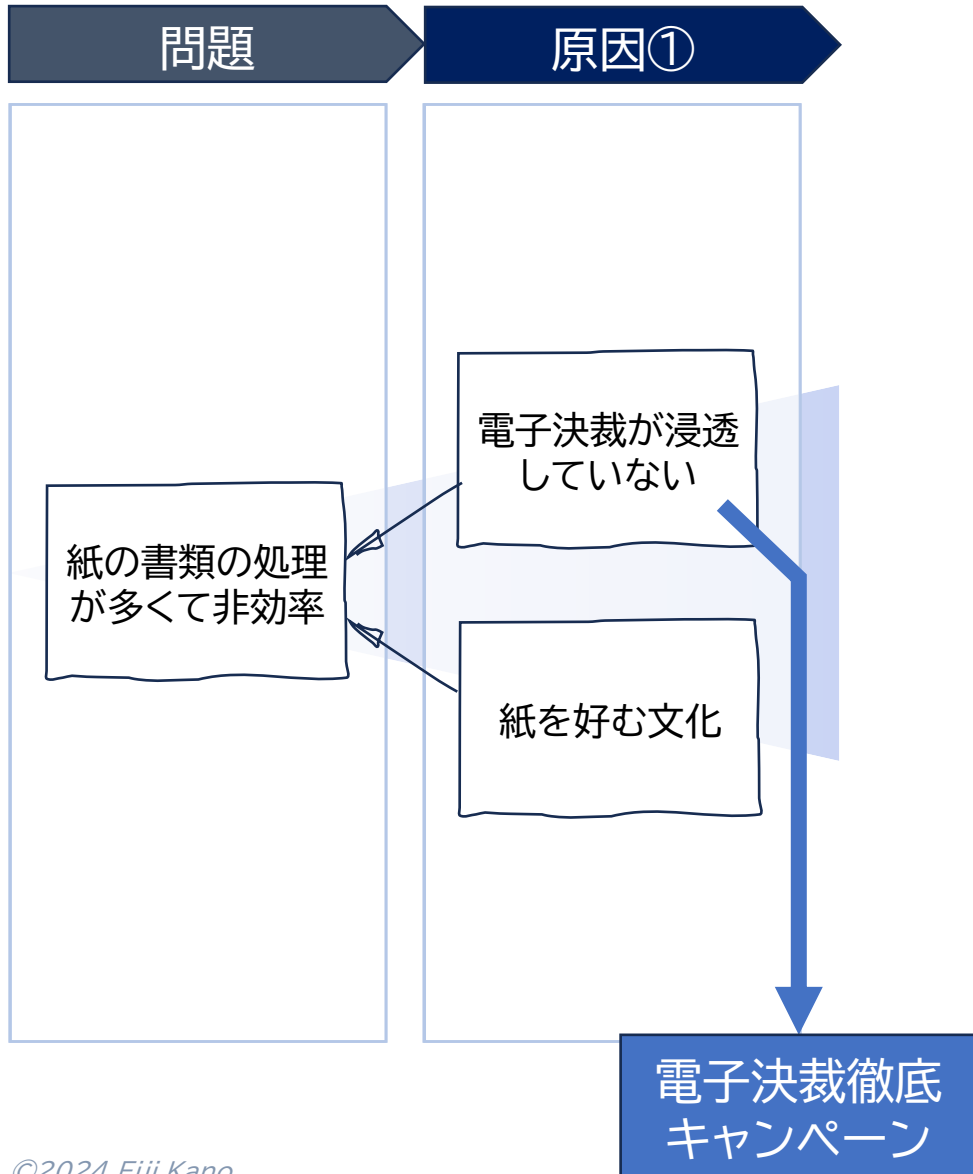


# ロジックツリー

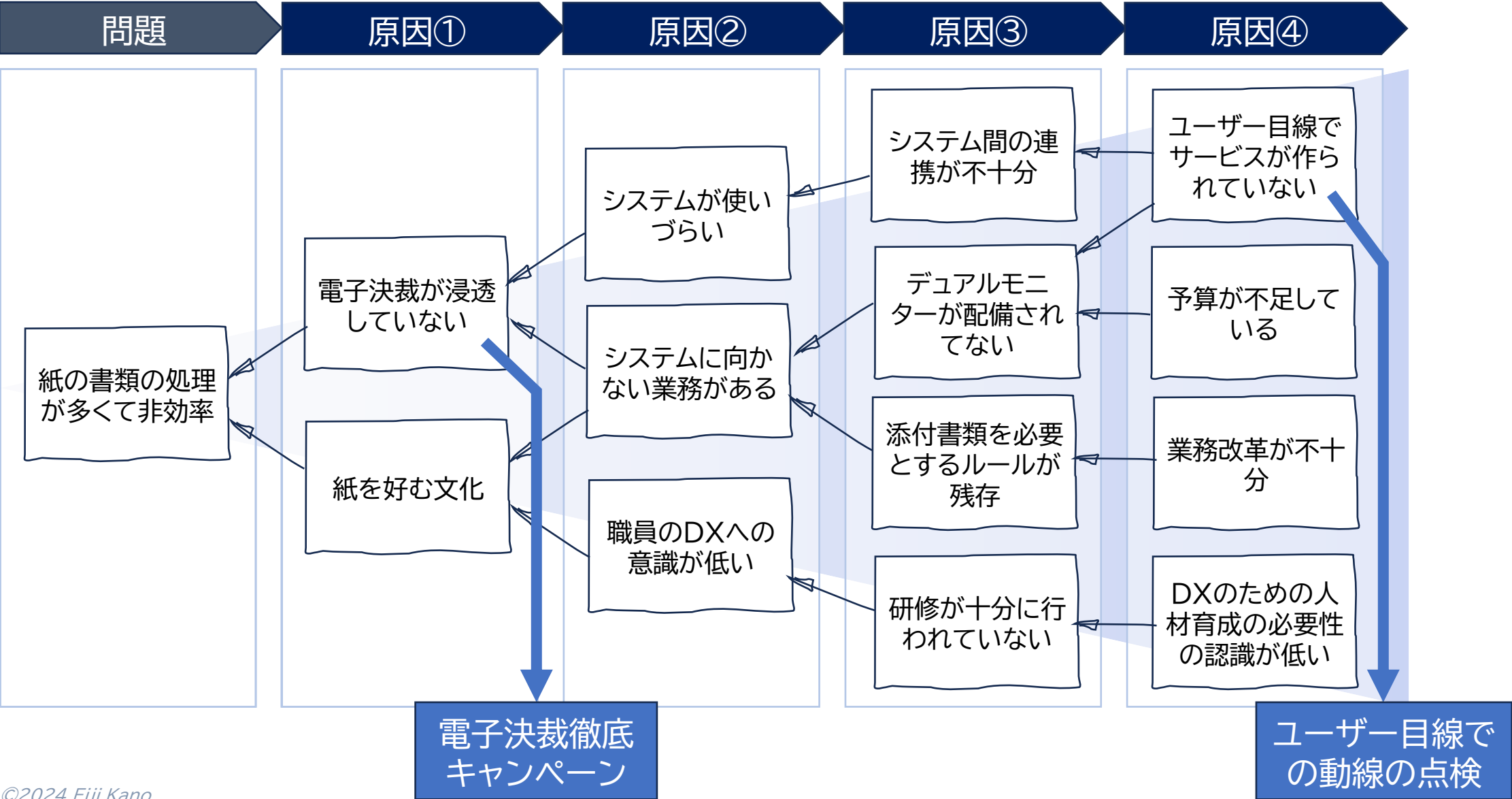
- ロジックツリーとは、様々な問題を分解の木として原因や解決法を発見する際に活用できるひとつの課題解決フレームワーク



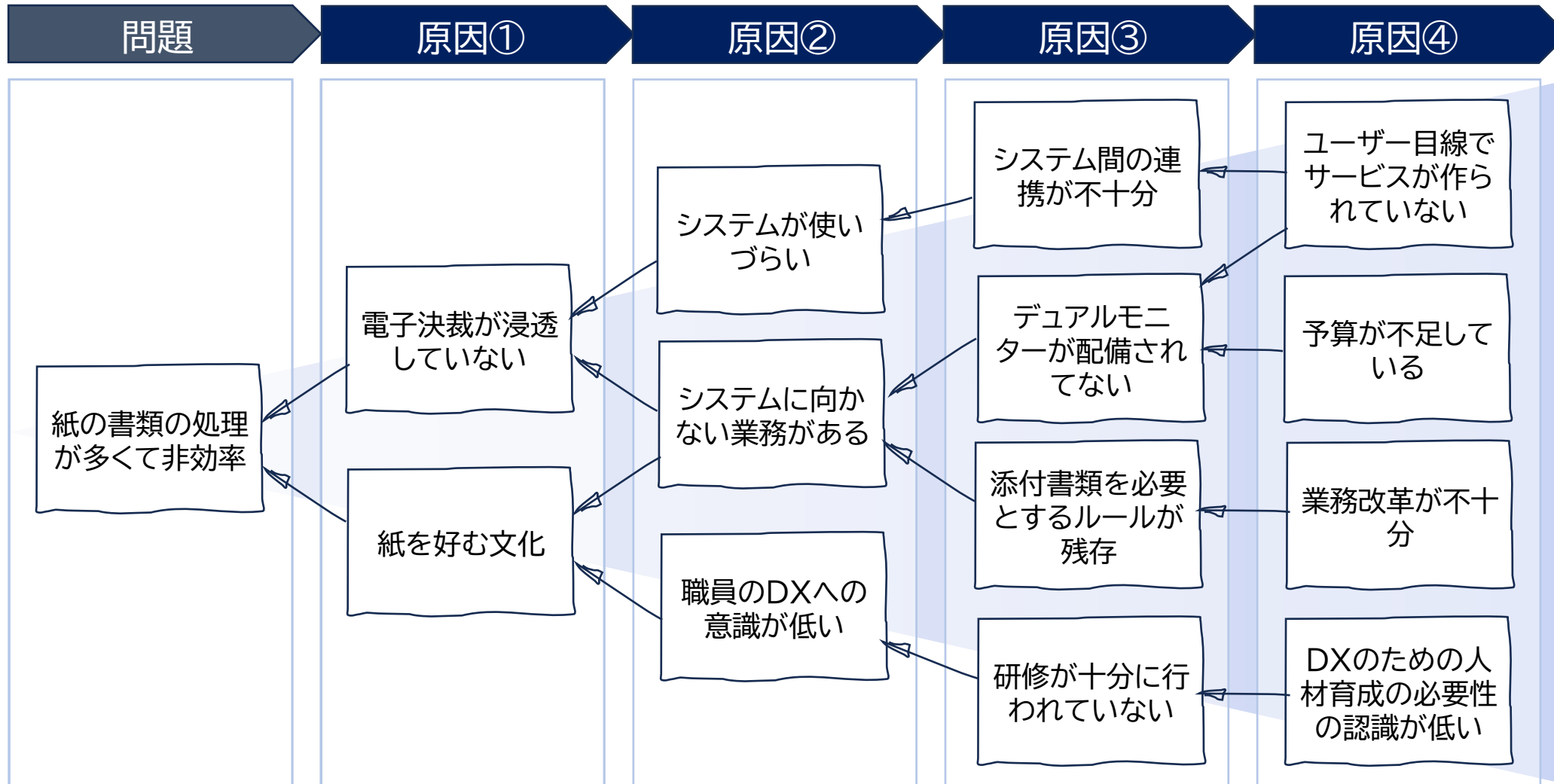
# 原因から導出される解決策の差異

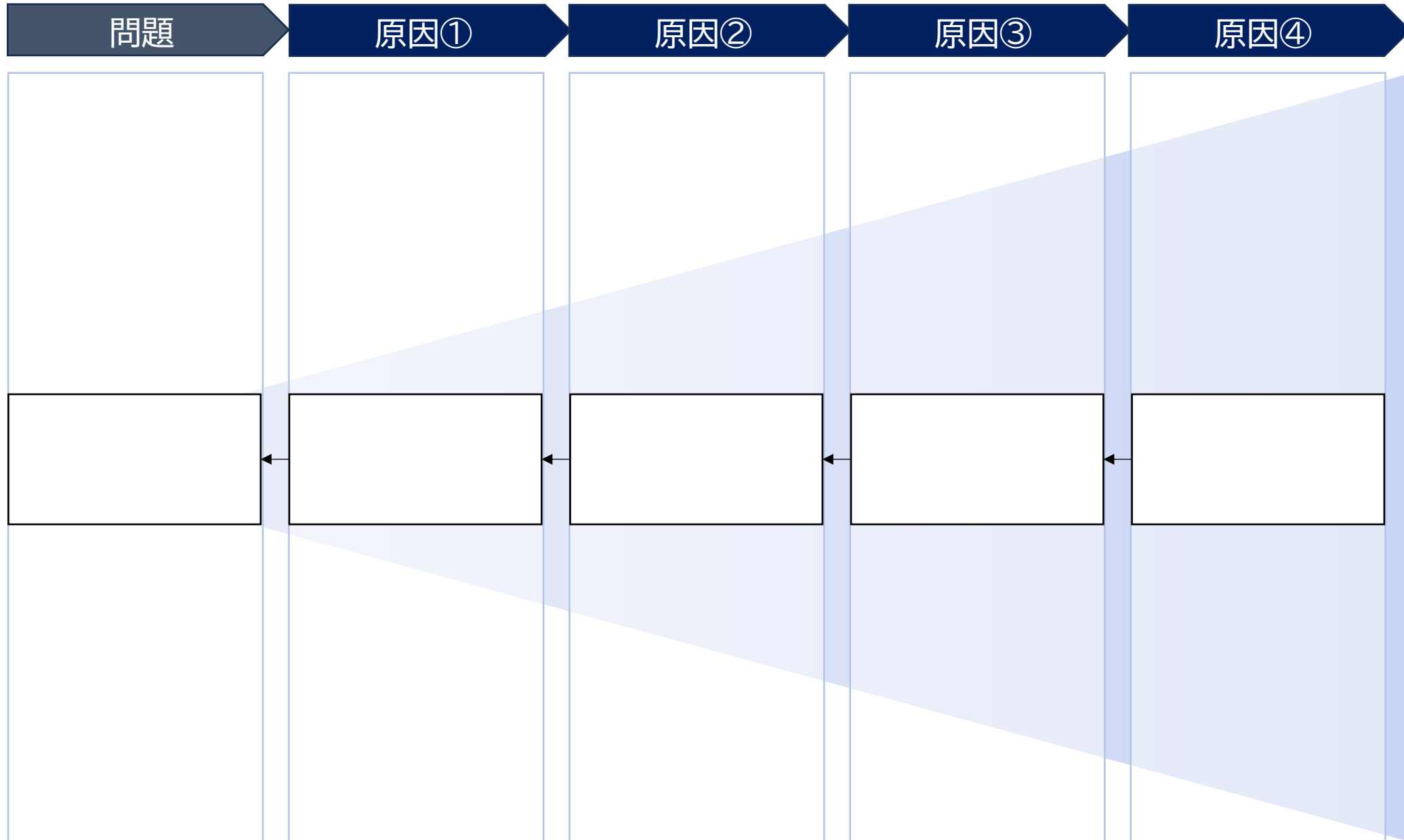


# 原因から導出される解決策の差異



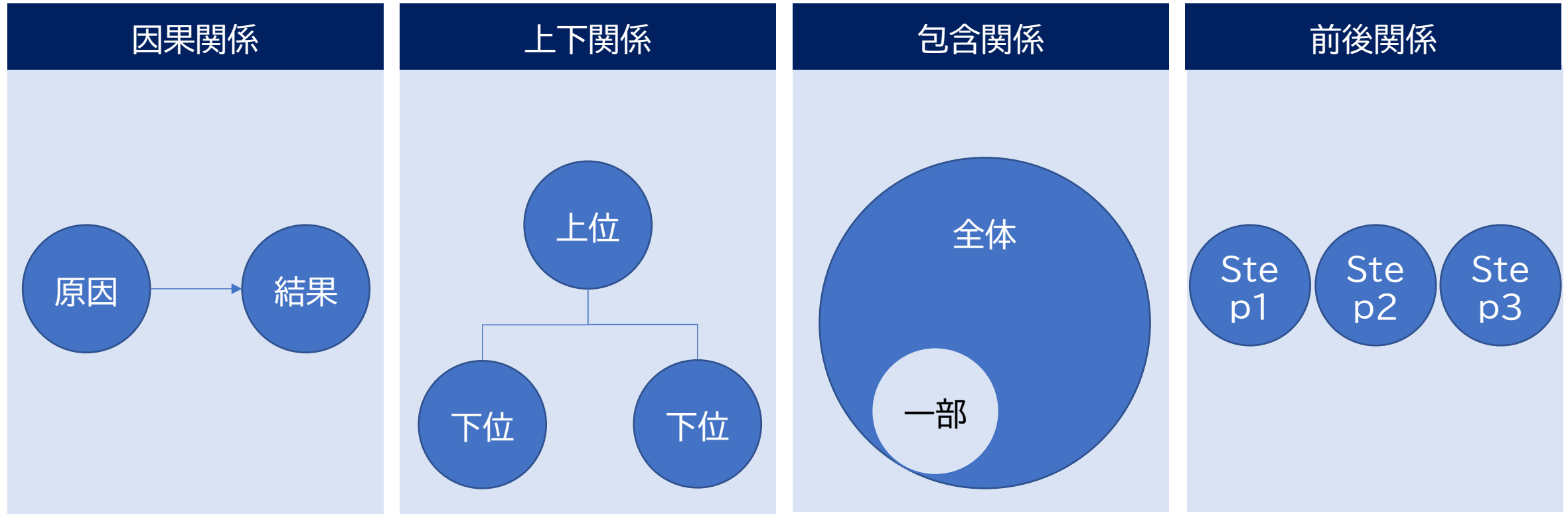
# ロジックツリー(Whyツリー)





# 作成のポイント:類似概念との関係性の認識

- 因果関係／上下関係／包含関係／前後関係の違いを正確に理解する



今回

**【著作権に関する留意事項】**

この教材の著作権は、有限会社ディーズリンクに帰属しています。無断使用は著作権侵害に当たりますので、「行政課題解決ツールボックス 利用条件」に記載の事項を遵守し、適切に取扱いいただきますようよろしくお願いいたします。